2026 年 11 月 24 日

患者さん・ご家族の皆さまへ

錦海リハビリテーション病院

病院長　角田 賢

院内完結型 AI による記録作成支援と会話の録音についてのお知らせ

当院では、医療 DX・業務効率化推進の一環として、院内完結型 AI による記録作成支援システムの試験運用を開始します。記録業務の負担を軽減し、患者さんと向き合う時間の充実を目指します。

1. 利用目的と記録作成の流れ

診察、看護、リハビリテーション、患者さん・ご家族との面談などで、必要に応じて会話を録音し、AI が記録の下書きを作成します。内容は担当する医療従事者が確認・修正し、電子カルテに記録します。診断や治療・ケアの判断を AI に任せるものではありません。

2. 院内完結型 AI の仕組みと個人情報の保護

インターネットに接続せず、院内の専用 AI 機器で処理します。

患者さんの音声や診療情報を外部の生成 AI サービスへ送信しません。

音声の文字起こしから記録の下書き作成まで、院内ネットワーク内で完結する仕組みです。情報の種類に応じ、次のように取り扱います。

- **録音した音声：**文字起こし後に削除される仕組みです。
- **文字起こし文・AI の下書き：**院内の専用機器に保存されます。電子カルテへの記録後も自動的には削除されないため、当院で定める手順に沿って保存・整理・削除します。
- **院内での情報管理：**利用する職員や端末を管理し、情報の取扱い・操作履歴・保存や削除のルールを整備して運用します。

当院は、厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン（第 7.0 版）」等の関係指針を踏まえ、技術面と運用面の双方から患者さんの個人情報の保護に取り組みます。

3. 会話の録音と患者さんのご意向

すべての会話を常時録音するものではありません。録音の際には、職員が事前に目的をご説明し、ご意向を確認します。録音を希望されない場合や途中で停止したい場合は、遠慮なくお申し出ください。お断りになっても、診療・リハビリテーション・ケア等で不利益が生じることはありません。

4. 試験運用と今後の取り組み

試験運用を通じて、記録の正確性や安全性、職員の操作性、記録時間の削減効果を確認し、正式運用に向けて運用方法を検討します。今後も医療 DX・業務効率化を通じ、医療の質と職場環境の向上を目指します。

患者さん・ご家族の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ先】錦海リハビリテーション病院 事務部 医療 DX・業務効率化推進委員会 事務担当